

2023仙台市議選 立候補予定者 こども子育て政策に関するアンケート

回答者名【 野田ゆずる 】 立候補予定選挙区【 泉区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

保育所資源の有効活用という点では一定の評価をするものですが、保育所の人員や地域ニーズ等の課題を把握・解決し、早期に本事業に移行すべきものと考えております。

問2. 仙台市発達相談支援センター（アーチル）が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

発達に不安のあるお子様の保護者にとっては、初回相談まで最大4ヶ月かかることは、解決すべき課題と考えております。アーチルの相談体制の更なる充実・効率化、児童発達支援センターとの更なる連携強化が必要と考えております。

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としていますが、どのようにお考えですか。

幼稚園・保育所等の職員に対して、発達に不安のある児童の療育について実践的な研修を実施し、医療的ケアが必要な児童に対しては看護職員を配置したうえで、児童の発達段階に応じて併行通園を実施していくことが望ましいと考えております。

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おります。この現状についてどう思われますか。

児童発達支援センターにおける単独通園の拡大や保育所における受け入れ体制の拡大を図り、就労を諦める保護者を解消する必要があると考えております。また、国において、障害のあるお子様を持つ保護者の育児休業期間の拡大を検討する必要があると考えております。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどう思われますか。

児童発達支援センターを含めた本市の医療的ケア児の受け入れ体制を把握し、他の政令指定都市の現状と比較した上で、医療的ケア児の受入れに必要な看護職員の配置やハード面の整

備を行う必要があると考えております。

問6.その他、コメントあればお願いいたします。

仙台市の障害福祉施策に提言を行うとともに、国や県に対して必要な要望を行い、障害の有無に関わらず、就学前から支援学校を通じて成人まで住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができる仙台市にしていきたいと考えております。

子ども達のために、日本を変える
Florence